夕刊
いわき民報

発行所
平市田町 電381 1222
いわき民報社
編集兼印刷発行人 田原登

元四倉中の模範教諭 新舞子濱で自殺

原因は熱心の餘り罹病

松本昭氏

四倉町仲町元四倉中学校教諭松本昭さん（三〇）は十三日朝大浦村新舞子海岸松林内でアドルム自殺を遂げた、病気のため去る三月退職静養中十二日午後三時ごろ家出し捜索中のものだつた

同氏は去る二十三年三月仙台工専を卒業、二十三年九月三十日付で四倉中学校に奉職、真面目な青年教師として同僚生徒間から親しまれていた、病気の直接原因となつたものは去る三月末の高校入学試験の際に当時卒業学年を担任していた氏は三十八名の受験生の内申書作製のため不眠不休の努力を傾け全受験生の内申書が出来上つた翌日安心感からか疲労が一度に出て病に倒れ其の後ずつと斗病生活を続けていたもので氏の努力が見事実を結んで受験生の全部がそれぞれの希望高校に合格、生徒の喜ぶ顔を見て病気も次第に回復に向つていた

学校当局でも『生徒のために倒れた松本教諭を救え』と職員生徒たちに呼びかけて去る三月から四月にかけて十円乃至二十円の見舞金を集め療養費として贈り慰めたこともあり、其の後ひつきりなしに教え児たちが恩師の病床を見舞つていた、氏の自殺現場は学校から南に約二百米ばかり離れたかつて氏が生徒達と一緒に良く散歩したことのある静かな松林である、恩師の死を聞いて教え児たちは悲しみの涙にむせびながら十三日夜は死骸の前で在りし日の師の面影をしのんで悲しいお通夜を明かし弔慰法などを協議した、なお松本氏の両親は既に亡くあとには妹トモ子さん（一九）一人が遺されたが、氏の遺品の中から妹の嫁入り仕度にと五万円記帳の貯金通帳が発見されわずかな俸給の中から妹の将来を考えてこつこつと貯金してやつていたいじらしい氏の兄妹愛を物語り聞く人々の新たな涙を誘つた

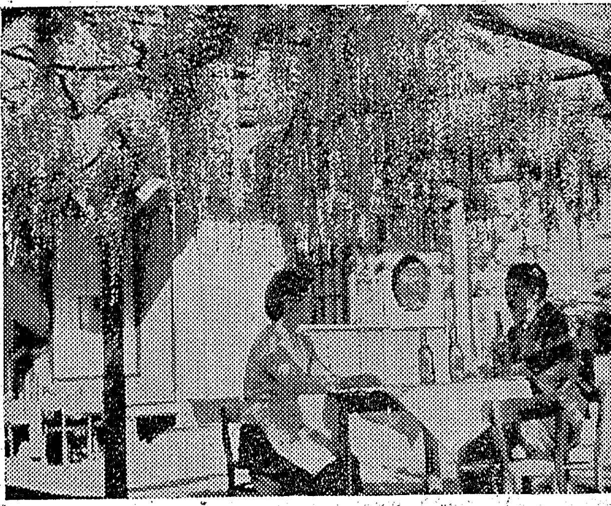
なお葬儀は十二日午後二時から四倉中学三年生二百五十名が参列して行われた

教え子へ遺書

卒業の時の大切な組主任として名ばかりで何も出来ず何等相手になれなかつたことを許して下さい、同じ教室で一年間学んだ五十数人が何事にも協力してやつて行つて下さい、二瓶君と西山さんはどうか他の人々の代表として組の人々の世話を、芳賀先生を頼りにしてやつて行つて下さい、十年後も二十年後も三年三組の生徒だつたことをほこりにして下さることを願います

私も君等の成長をみたかつたけど弱い気持が病気に負けました

私のまねをせず、強く生きて行つて社会を日本を再建して下さい、ではお願いします



藤の花眞盛り（平市松ヵ岡公園にて）

津上ミシン
鈴木ミシン商會
平市白銀町電一〇九八

金城氏を表彰

隠れた善行が判明

内郷町では十五日同町高坂字大平一飲食店業金慶和こと金城慶利さん（三三）の隠れた善行を謝し表彰することになつた

金城さんは去る二月二十一日高坂字立野に発生した火災の罹災者郵便局員加藤久之さん（三七）ほか三世帯が焼け出されて生活に困つているのに同情し米、味噌衣類などをこつそり恵んで来たことが判つたもの

金城さんは『国籍は違つても困つている時はお互い様だ』と語つている（写真は金城さん）

明朗化運動委選ぶ

平市連青が積極的に活動

平市の政治的な葛藤は色々な面で不明朗な空気を漂わし市民のひんしゆくを買つているが、平市連合青年会では明るい郷土の建設は吾々青年の力で打樹てようと過般来政治的な渦中に巻込まれぬ為慎重検討しその運営方法を協議して来たが、去る十一日午後三時半から平市役所会議室に第二回評議委員会（決議機関）を開き、新たに市連青に『平市明朗化運動委員会』を設け委員二十名を選出、近く世論調査を実施しこの結果に基づき漸次、平市明朗化に乗出すことになつた

同運動に対し市民の一部には政治的活動になるとして反感の声をもらすものも生じているが市連青では『青年会の目標は飽くまで明るい郷土の建設であつて今の平市は絶えず見えざる国境線が引かれ狭い郷土の中で不自由をかこつている状態である、講和独立の年を迎えて愈々祖国日本の再建を計る時にあたつて先ず建設の第一歩はこの国境線の撤廃こそ急務だ、政治運動と言う者もあるが青年会としては生活啓蒙、政治意識の昂揚を当然計らねばならぬし、選挙運動にまき込まれることは明らかに政治運動となるがこれらの行動をして政治活動だとするは政治の実体を知らない者だ』と力強い信念に燃えており今後の活動は注目されている

役員を決定

平市連青第二回評議員会は十一日午後市役所に開き、県連青役員を次の通り決定、平市明朗化運動委員二十名選出、第三回町内親善野球大会準備國なども決めた

【理事】会長草野四平【評議員】遠藤三郎、馬目頼、高田燕子、木

製氷へ補助額決る

分裂組合の統合斡旋

小名濱町會

小名浜の臨時町議会は十三日午前九時半より公民館で開き製氷冷凍冷蔵工場建設事業費として小名浜漁業協組に四百万円を補助することに決定、小野務平氏の勧誘で組合が二つに分れていてる小名浜漁業協組と小名浜機船底曳網漁業組並に農業関係の小名浜農業協組と玉川農業協組をそれぞれ一本に合流させることに町が斡旋することを決定交渉委員に立花秀吉、小野務平、菅原勤、箱崎瀧三郎、橋本佐多寿長瀬彰義を選び水野町長を加えて交渉することになり電報電話局敷地問題について協議したが結論を得ないまゝ、同十一時半閉会した

北洋漁業から初便り

講和後の日本の先がけをうけ北洋の鮭、鱒漁場を目指し集結港函館をこのほど出帆した小名浜港所属第三天洋丸（五五トン）から十三日午後一時二十一分発信の第一報『目的地に無事到着、御期待に叛かざるよう検討中、安心乞う』と同日午後三時二十分小名浜北洋漁業組合に入電があつた

平第二高校 PTA總會

県立平第二高等学校PTA総会は十三日午後二時から同校に於て旧役員会に引続き開催、前年度決算並に新予算の承認を行い役員改選の結果左の通り正副会長を選出した

会長卯木華、副白石勳、同服部甲村恵子

PTAリーダー講習會

十六、七日小名濱で開催

県教育委員会社会教育課、郡連合PTA共催のPTAリーダー講習会は十六、七の両日午前十時より小名浜町公民館に平市、郡下各学校から選出されたPTA指導者が参集して開かれる、PTAの正しい運営方法と今後の発展策について討議するのが狙いで日程は十六日午前十時半の開講式に続き『PTAの性格について』と題する文部省事務官二宮徳馬氏の講演、午後四分科会によるレクリエーション同七時よりは『児童の不良化防止について』の研究会並に映画の観賞を行う、第二日目の十七日は午前十時分科会の前夜行つた報告及び研究座談会、社会教育課への希望懇談会があつて正午解散する予定

疑似赤痢六名出る

内郷鑛の住宅から

検便を終つたばかりの常磐炭鉱内郷鉱住宅から六名の疑似赤痢患者が発生した—十三日平保健所に内郷町宮字宮沢三本杉武雄（六〇）同繁男（四〇）同町高坂字三本松二瓶尋美（三〇）同町内町字前田大谷淑子（五〇）同町宮字宮沢荒守行（四〇）同町綴字七反田門馬トシ（七〇）の六名が疑似赤痢であると報告が入つた、この地帯は平保健所が検便を行つて四十四名の赤痢保菌者を発見、隔離したばかりの炭鉱住宅街であるため同所では早速十三日係りを派遣徹底的な原因究明にのりだした

一家三名罹病

好間村愛谷字花畑農業木田幸子ちやん（七）キイ子さん（一七）千代子さん（一四）の一家三名は七日発病、十日腸チフスと決定、隔離された、原因は平保健所で調べているが四月下旬ごろ内郷町の親戚の御祝によばれて食べた折詰らしい

武藤氏講演會

來る十五六日

磐炭労、日鉱常連、平労政事務所共催で十五日午後六時から湯本町自治会館で前総評議長武藤武雄氏の『独立後における労働運動の在り方』と題する講演を開く、終つて〝吾子と歌わん〟〝炉は再び燃えぬ〟の映画会が行われるなお十六日午後六時から内郷町浅野記念館で行われる

四公衆浴場改修に決る

湯本町で

湯本町財産区温泉委員会は十三日午後一時から役場会議室に開いた結果、区営公衆浴場四カ所（鶴の湯、石風呂、東湯、栄湯、）を工費十六万円で改修することを決定した、なお新しくお大きな浴場を予算二百万円で吹谷と上川の二カ所に建設することについて協議午後四時散会した

天気予報

十四日

【今晩】南のち北東の風よい天気
【明日】北のち南の風引続きよい天気午後には薄雲拡がる、海上今晩は風波一時おさまるが

父大谷省吾儀病気療養中の処薬石効なく五月十三日午前六時死去いたしました　茲に生前の御交誼を謝し謹んでお知らせいたします

追つて葬儀は十五日午後一時より入遠野村の自宅で営みます

昭和二十七年五月十四日

石城郡入遠野村
喪主 大谷迪夫
外 親戚 一同

十五日開店　粗品謹呈
こ名 もなか
和菓子の店 二町目店（新築）

賣家
泉駅前 製パン製菓道具一切付
商店向 委細面談
姓名在社(1)

ホケットものはホケースへ
長橋町の
吉村

祝独立日本
特選
五月人形
（階上）
平駅前
寿
武者人形・座敷幟
兜・具足・道具類
セット・鯉・吹流
格安品豊富に取揃えお待ちして居ります

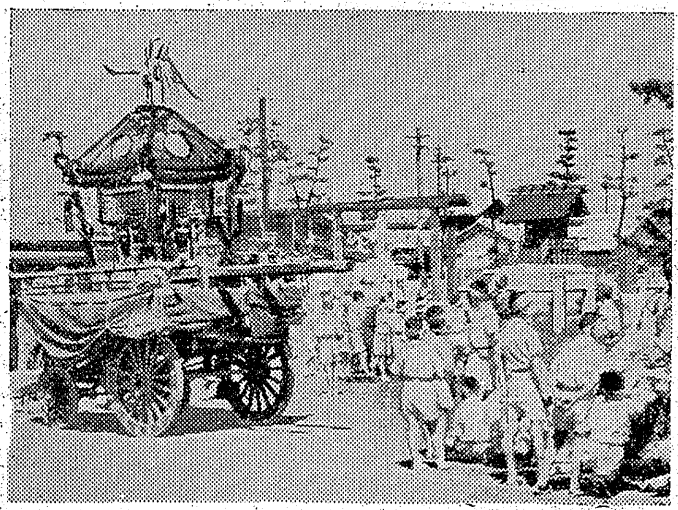
元県森連 經理課長を逮捕
藁谷事件愈よ進展

既報＝平地区署ではさきに永戸村渡戸永戸箕輪森林組合長藁谷武夫（三九）を五十万円に上る背任容疑で逮捕取調べていたが、事件は更に拡大して十三日夕刻元県森連経理課長後藤保（四九）を収賄、永戸箕輪森林組合参与藁谷長徳（五四）を贈賄ほう助容疑でそれぞれ逮捕した、去る一月十七日ごろ藁谷武夫が飯坂温泉で後藤に十六万円を渡し藁谷長徳ら七名に饗応した疑い

警視廳から更に來援
人身賣買の糺明へ

既報＝去る六日湯本、内郷を中心とする人身売買事件摘発のため警視庁防犯部少年係警部補藤沼宗四郎氏一行数名が来平したが、十四日午前三時ごろ第二次調査隊として警視庁防犯部横山部長ほか一名が来湯し湯本地区署員の協力で湯本電報電話局で電報原書の調査を行つた事件は湯本を中心とした広範囲に亘るものと見られ進展が注目されている

大漁祈願をこめて 小名濱の夏祭り
今明日とも人出て大賑い



大漁祈願をこめた小名浜町の夏祭は十四日鹿島神社十五日諏訪神社と二日続きの例祭で、神輿や屋台尾持なども繰出し町をあげての大賑い、特に諏訪神社（宮司小名川年雄氏）では宵祭りの十四日は夜七時より大々御神楽の儀が夏井村菅波部落有志十名によつて同神社境内の神楽殿で奉納されるほか神輿奉仕者の猿田彦（小名浜町上町鈴木田蔵さん（六二））うづめ、御神楽の三役はじめ神輿をかつぐ船頭漁夫約百二十名が集つておこもりをとり、十五日朝八時、大々御神楽の奉納があつて同九時出輿、本町―港橋を経て小名浜漁協組前で海水を神に捧げ祀つて大漁祈願の儀を執行、古港―中島―中町―西町―宮入りの路順で町内を巡幸する（写真は繰出した神輿）

鬪爭派公判
三日目開く

平事件統一派併合第六回公判三日目は十四日午前十時十分から地裁平支部に山田裁判長係りで開かれ十七被告が出廷した、証人尋問は前日に続いて湯本地区署巡査部長渡辺政憲氏に対し被告からの反対尋問が行われ正午休廷、午後一時再開され湯本地区署長菅家徳寿氏の証人尋問が行われた

公營住宅
入居希望受付

小名浜町ではかねてより公営住宅十戸を建設中だつたがこの程完成したので十七、十八日の二日間厚生課で次の要領で入居申込みを受付ける

▼場所、住宅の種類及び戸数、同町字傘人地内（日本水素前）＝四戸、字吹松地内（母子寮前）＝六戸、建坪九坪（六畳、三畳のほか炊事場、物置付）▼家賃＝一カ月八百円▼敷金、家賃の三カ月分▼申込資格、一定の月所得がある者で一カ月の所得が八千円以上一万二千円未満、扶養親族三人以下のもの▼入居決定の方法申込書によつて事実を調査、選考委員会で決定

後山夫が重傷

十三日午後五時半ごろ山田村〃昭炭鉱第一坑で捲揚機と炭車を連結作業中の後山夫小高勇弥さん（二七）は突然前車七輛が逸走し出したのでこれを止めようと立上つた瞬間支柱枠の押木に頭部を強打平市十五丁目竹林病院に収容されたが全治二カ月の重傷

轢死体身元判る

昨報＝内郷町御台境字鶴巻地内常磐線下り列車線路上の轢死体は好間村愛谷〃履土工吉田弥勇さん（二九）と判明した

電力線盗まる

東京電力小名浜変電所では十三日午後九時から十四日午後五時にかけて小名浜町芳川町字下平地内から二・六ミリ電力線二十二キロ（三千六百円相当）が盗まれた

内郷で講演會

内郷町公民館主催生活改善講演会は十五日午後一時から滝町田部落館に開く、講師は地方事務所生活改善課鈴木ミス女史

内郷町の小火

十三日午後七時十分ごろ内郷町御厩字下宿鉄道員菅野一さん（四五）方風呂場から出火約二坪を焼き鎮火原因は風呂場の火が屋根に燃え移つたもので損害は約千円位

ラジオ JOCP JOHQ
ローカル 平放送 （15日）

後三・四五 教師の時間『教育相談室』

後六・三〇 夕のまどい『子供から親達へ』福島放送劇研究会

組合せ決る
町内對抗野球

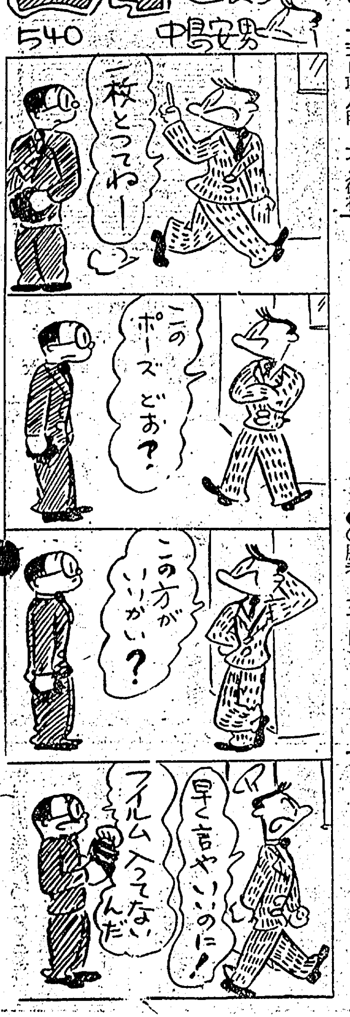
平市運青主催の平市内町内対抗野球大会は二十一チームが参加十七、八の両日に平工、商両校グランドで開かれる、組合せは次の通り

▼第一試合

❶田町―新川町❷二丁目―十六区❸久保町―中央❹十七区―才槌小路❺胡麻沢―紺屋町

▼第二試合

❶の勝者―南町、長橋町―材木町、❷の勝者―鎌田町、神谷―五大字、❸の勝者―七丁目、飯野―平窪、❹の勝者―廿八区、❺の勝者―六丁目


さん
540
中島安男
一枚とってねー
このポーズどお？
この方がいいかい？
早く言やいいのに！
フイルム入ってないんだ

13.14.15＝3日間
（祭禮特別興行）
「水戸黄門漫遊記」第二部
伏魔殿の妖賊
☆物凄い面白さ！銀幕に叩きつける血の興奮と笑の爆彈！
市川右太衛門 折原啓子
御園祐子 三味線豊吉
赤道祭 2本立
小名浜 キンビ館

祝 小名濱町鎮座 諏訪神社例大祭 5月15日

小名濱鎮座 諏訪神社
宮司 小名川年雄
氏子総代
小浜長太郎 小野義一
馬上徳十郎 比佐政種
水野政次郎 御代亀太郎
野崎貞行 運賀熊次郎
志賀要平 草野増太郎
藤社重吉 村上重一
丹清治 小松善蔵
三代義勝 門馬春治
馬上庄治 [illegible]崎慶蔵
小野源右衛門 高木忠治
外神社世話人一同

福島縣定置漁業協會
会長 斎藤誠吾

小名濱漁業協同組合
組合長 三代義勝
主事 小野田基

磐城櫻
小名浜町林城
長瀬彰義
電一九九番

[illegible]
銘酒 群鱗
小名浜町
清水屋酒店
電六番

磐城通運株式会社
小名浜営業所
所長 野口源太郎

海上保安協會福島縣支部
日本水難救済會福島縣支部
支部長 会長 三代義勝
主事 菊田 敏

小名濱町金融團

小名濱町建設業協會
会長 太田武彦
外会員一同

小名濱機船底曳網漁業協同組合
組合長 田島繁夫
参事 西村 巌

小名濱町質屋組合
組合長 草野庄平
外組合員一同

小名濱町旅館組合
組合長 永山六郎
外組合員一同

小名濱料飲業組合
組合長 飯塚 勝
副組合長 長瀬長寿
会計 大木隆信

三洋鐵工所
鈴木丑松
小名浜町栄町電二四八番

八崎丸
船主 瀧内與平

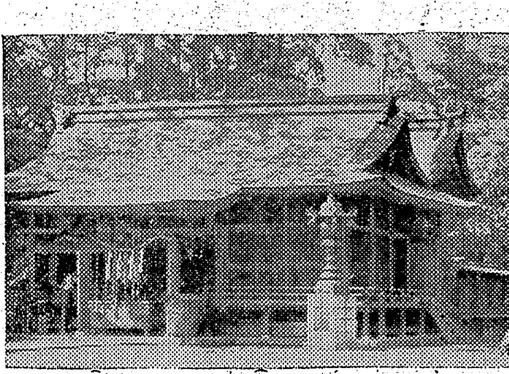
金山鋼材株式会社
小名浜出張所
所長 金山永孚

おいしい醤油
うまい味噌
綿屋商店
小名浜町古湊電二九番

お祭のお履物はぜひ当店で!!
大菱履物店
小名浜町本町通り

クスリ
健康の相談は当店へ!!
西原延壽堂
小名浜町本町電五九五番

食料品
タバコ
雑貨
文屋商店
小名浜町古湊電三四六番

写真に勝る記念なし〃
〃技術・信用本位〃
鈴木寫眞館
小名浜町本町電一八番